第１４２回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成２８年１１月２２日提出）

１．題　目：モジュール科目のシラバス作成支援

２．日　時：平成 28 年 11 月 10 日（木）　16:15～17:45
　　11 月 15 日（火）　16:15～17:45

３．場　所：文教キャンパス　ＩＣＴ基盤センターセミナールーム

４．主　催：教務委員会
　企画・実施： 評価・FD 教育改善専門部会

５．対　象： 全教職員（非常勤を含む）

６．長崎大学ＦＤに関する指針第二項への該当について【複数選択可】
　（該当するものに○を記入すること）
　［　○　］(1)　教員の教育活動に関するもの
　［　　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
　［　　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
　［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
　［　○　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
第４クールの全学モジュールから「考える力」の向上をめざしたアクティブ・ラーニングの充実が求められています。また，COC＋採択に伴い，地域課題を取り入れた科目を各テーマ内に１科目設定することにもなっております。さらに，平成 29 年度からは学事歴がクォーター制に完全移行するなど次年度の全学モジュール科目における授業設計・シラバス作成は従来とは異なる場合もあります。

このシラバス作成に際しては，「シラバス記載ガイドライン」があり，それに基づき全ての授業科目においてシラバスを作成し，授業の到達目標，授業方法（授業の形式，事前・事後の学習内容），アクティブ・ラーニングレベル，成績評価の方法・基準等を明示する必要があります。

そこで，来年度のモジュール科目のシラバス作成に際して，大学教育イノベーションセンターの教員から情報提供とシラバス作成支援をさせていただければと考えております。本メールは，科目責任者の先生方にもお送りいたしますので，日程を合わせ，シラバス内容の調整の機会としてもお役立てください。

８．プログラム構成［題目・担当講師］

① モジュール方式の確認

② 第４クール以降の変更点

③ シラバスの作成要領（特に到達目標と成績評価について）

④ 質疑応答ほか

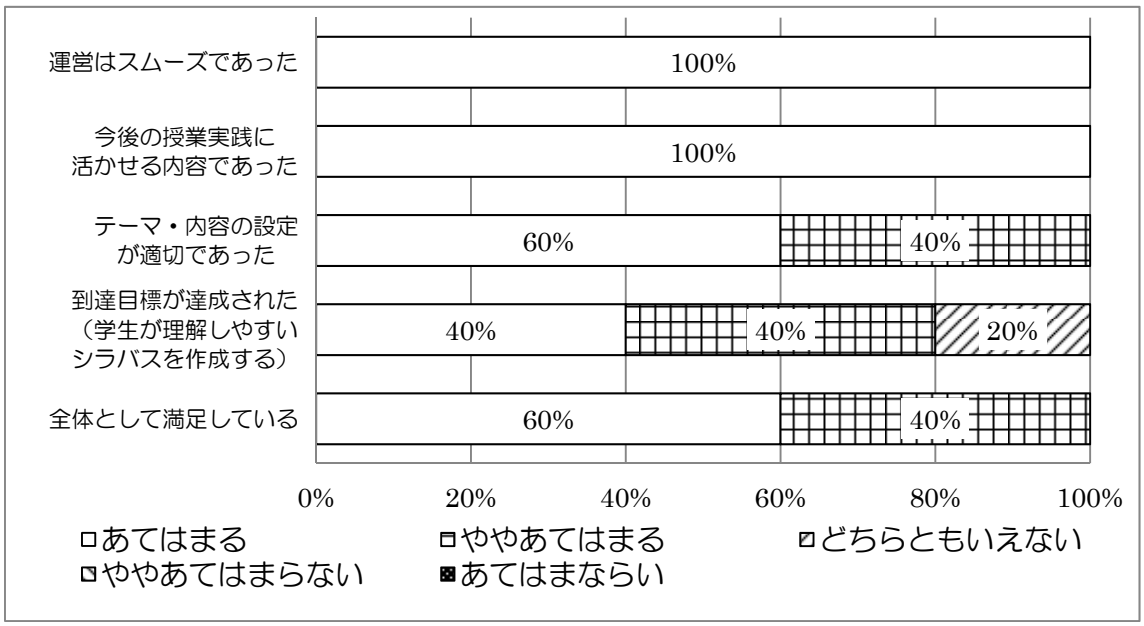
９．参加者：１３名（受講証発行対象者：１３名）

（内訳）

所　　属	人　数
教育学部	1
経済学部	1
医歯薬学総合研究科（医系）	2
医歯薬学総合研究科（保系）	1
水産・環境科学総合研究科（水産）	1
国際連携研究戦略本部	1
国際教育リエゾン機構	1
ICT 基盤センター	1
病院	1
学生支援部	3
計	13

１０．実施したＦＤの成果等

（１） 参加者からの評価（回答者：５名）



● 今回のプログラムについて，お気づきの点・ご意見・ご感想をご記入下さい。

・シラバスの位置づけだけでなく、モジュールの最近の考え方についても理解することができて大変役に立ちました。

・色々と考えさせられる内容でした。（以上教育職員）

● 長崎大学FDとしてとりあげるテーマ･内容についてご意見･ご要望をご記入下さい。

・教員が英語で授業する力をつけられるようなものがほしい。周りから英語で授業するよう言われるが、授業できるだけの英語力が足りないように思うためである。

・アクティブラーニングの実際（以上教育職員）

総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

今回のＦＤは、全学モジュールⅡのシラバス入力期間と合わせ、さらにゾーニングも考慮して実施したが、参加者が少なかったことは残念であった。内容としては、現在のモジュール科目の学習目標の確認や今年度から設定が必須となった「アクティブラーニングレベル」の考え方などを中心として展開されたが、小人数であったことで、細かな質問等にも答えることができた。質疑応答にかなりの時間をとられたため、到達目標である「学生の理解しやすいシラバスを作成する」までには至らなかった点もあるが、参加者の疑問点にはほぼ答えることができ、有用であったと思われる。

（文責　若菜）

１１．実施代表者の連絡先

教務委員会委員長　星野 由雅
e-mail：hoshino@nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2003

１２．申請者の連絡先

学生支援部教育支援課教養教育班
主査　寺川 美穂
e-mail：fd@ml.nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2077